



平成 13 年 6 月 6 日

藤 沢 市 議 会 議 長
二 上 喬 様

社団法人 日本建築家協会 (J I A)
関東甲信越支部 支部長 服部 範二
保存問題委員会委員長 篠田 義男
J I A 神奈川代表 山口洋一郎

代表者 東京都渋谷区神宮前 2-3-18
社団法人 日本建築家協会
関東甲信越支部
保存問題委員会委員長 篠田 義男

旧 J.H.モーガン邸および庭園の保存活用に関する陳情書

拝啓 時下益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

貴藤沢市におかれましては、旧近藤邸や新林公園内民家の保存、旧広文堂部材保存、江ノ島の景観整備など建築文化の発展、継承に尽力されてこられました事に深く敬意を表します。又、日頃、本会と会員に対しご理解賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、貴市大鋸所在の旧 J.H.モーガン邸につきまして、昨年の(社)神奈川県建築士会及び「旧モーガン邸を守る会」から出されました陳情書に対する貴市からの御回答を拝見いたしますと、その歴史的価値に関しては十分な御理解をいただいておりますものの財政事情により買上げ等の方向を見送らざるを得ないとお見受け致します。横浜市所在の同じモーガン設計によるベーリックホール(旧セントジョセフ・インターナショナルスクール)は、横浜市が買取り、隣接する元町公園を拡張する形で公園内に取り込まれ、2002年4月から市民に公開されると伺っております。

藤沢の旧モーガン邸には、2000坪に及ぶ敷地に植物学的にも豊かな植生があり、全体を公園として利用することも可能で、庭園と建物を保存活用する事で魅力は更に増すものと存じます。

又、公園及び建物の運営管理面についても、現在シンポジウム開催や敷地の草刈清掃等、積極的に保存運動をしている地元市民グループのバックアップが期待できるなど、諸般の事情も変化しつつあるように思います。

厳しい財政状況は十分理解できますが、英知を傾けて市有化し、市民に喜ばれる施設、生涯学習の場等として保存活用していただく事をここに強く要望する次第です。

J I A 関東甲信越支部、保存問題委員会および J I A 神奈川としても積極的に支援、協力をさせていただくことを申し添えます。

敬具